

2019 年度協定校短期プログラム 留学報告書

※記載されている内容は留学時の情報に基づくものです。

学部・学科および学年(留学時)	経済学部経済学科 4 年
性別	男
留学先国・大学名	オーストラリア・クイーンズランド大学
留学期間	2019 年 9 月～2020 年 2 月

留学準備について

留学前あるいは留学中にどのような準備を行いましたか。

しばらく英語に触れていなかったもので、高校時代に使用していた教材を少し見直しました。加えて、留学経験者からリスニングが鍵だと聞いていたので、TED 等を活用してなるべく英語に聴き慣れるようにしました。

費用について

(留学にかかった経費を教えてください。)

	日本円	現地通貨
航空券(往復)	約 10 万円	
保険料(本学指定のもの)	(OSHC+慶應学術事業)	330 ドル+54090 円
住居費		4940 ドル
食費		?
通信費		約 150 ドル
おこづかい		
その他()		
その他()		

留学をした理由等について

なぜ留学をしようと思ったのか教えてください。

学生で自由に使える時間が沢山あるうちに、海外で対等にコミュニケーションが取れる程度の語学力を身につけたいと考えたからです。就職活動を一度経験し、将来は世界を跨いで働きたいと考えようになったのがきっかけになっています。

留学先の国・地域および留学先大学について

留学先の国・地域および留学先大学を特に志望した理由があれば教えてください。

数ある短期プログラムの中でも、このプログラムの期間が圧倒的に長かったというのが最大の理由です。やはり語学は習得に時間がかかると思い、なるべく多くの期間留学先に滞在したいと考えていました。加えて、クイーンズランド大学は学生の国籍の多様性を宣伝しており、留学生に寛容な雰囲気が整っていることが伺えたことも決め手の 1 つとなりました。

大学が所在する街の様子を教えてください。(街の雰囲気や治安、気候などについて)

ブリスベンの治安はとても良く、人もシドニー等他の都市と比べるととても暖かいです。一度携帯を街で落としてしまったことがあったのですが、無事に戻ってきました。

気候は、昼はとても暑く夜は冷える印象です。特に日差しが相当強いので現地の人は日焼け止めを常備しています。

留学先の国・地域の良い点・悪い点、またそこに留学するにあたって事前に準備したほうがよいことがあれば教えてください。

良い点：様々な人種が社会に溶け込んで生活している点。その為、文化価値観が違ってもお互いに理解し合おうという姿勢があります。人種差別も一切経験しませんでした。

悪い点：とはいえ中国を始めとする3, 4ヶ国から来る移民、留学生の数が非常に多く、それぞれ同人種で固まりがちな点。

プログラムを振り返って

1日のスケジュールについて教えてください。

8:15~12:45 授業

13:30~14:30 アクティビティ、ワークショップ

14:45~ 自由時間 (勉強、クラブ活動、遊び等)

授業はいかがでしたか。(授業の行われ方・内容に関する日本との違い、課題・勉強量・時間 等について)

私は、General English, Business English, Academic English の3つの授業を選択しました。全てのクラスで多少の課題が出ました。また、期末試験は Reading, listening, writing, speaking の実力試験のようなものでした。

GE5: 授業は参加形式のエクササイズが多く、4技能をバランス良く鍛えることができます。一番多くの学生が選択するクラスです。

EIBC2: ビジネス関係の英語を学びます。ケーススタディを用いてのディスカッションや、新規ビジネスプランについてのプレゼンテーション等がありました。

EAP2: 基本的にUQで何か専攻する人の為のクラスです。論文の書き方から IELTS のスコアの取り方まで幅広く学べ、学部、院に向けて準備することができます。

課外活動はいかがでしたか。特に印象に残ったものがあれば教えてください。

休日は基本的にどこかへ出掛けていましたが、特に印象に残っているのは、帰国直前に仲の良かったドイツ人と台湾人の友人と一緒にモートン島に小旅行をしたことです。日本にいる友人と同じように接することができる信頼関係を留学先で築けたことに感動したのを覚えています。

日常生活はいかがでしたか。(寮生活、クラブ活動、ボランティア、学生交流、日本から持参するとよいもの等について)

まず大前提として、ICTEはサッカーからクッキングまで様々なアクティビティを開催しています。私は、はじめの一ヶ月は毎日必ず何かしらのアクティビティに参加するようにしていました。そうすることでようやく、他国籍の人と仲良くなる機会を得られます。

UQのクラブにもいくつか所属していました。

・UQJX...UQの日本人留学生コミュニティです。主な活動はConversationで、語学交流をしています。日本人だけではなく、日本に興味のあるオーストラリア人、その他留学生も多く在籍しているので、友達作りには良いです。

・Focus …大学内にある Uni church で聖書を学ぶクラブです。クリスチャンでなくても入ることができます。留学生に優しいコミュニティなので、友達作りには良いです。

ボランティア

・Student Leader…ICTE の学生ボランティアです。日々のアクティビティのサポートやキャンパスツアーを取り仕切ったりします。

その他

・Conversation Club (Brisbane Square Library)…街の図書館の語学交流クラブです。大学のクラブとは違い、国籍年齢層と多様な人が集まるのが特徴です。

・Language Exchange…Meet up で見つけた定期イベントです。毎週夜バーに集まり 3 時間程度会話をするという活動です。会話力は相当鍛えられます。

留学をして得たもの、良かった点・悪かった点などを教えてください。

言うまでもなく語学力は大きく向上しました。留学前 TOEFL の Speaking は 13 点という悲惨なものでしたが、帰国前に受けた IELTS では 6.5 点 (TOEFL 換算 23 点程度) を記録することができました。

しかしそれ以上に、異文化への適応というものを体験できたことが非常に良かったです。私は、いわゆる純ジャパでこれまで海外生活をしたことがなかったのですが、この留学でオーストラリア人はもちろん、様々な国籍の留学生と交流することによって、文化価値観の違いというものを肌で感じる事ができました。もちろん、自分にとっての異質が相手にとっての当たり前という場面で困惑したこともありましたが、お互いに一個人として尊重し合っていれば、その違いを自然に受け入れられるようになるということを学びました。このような自身のバックグラウンドから離れた多様な視野に触れ、物事を俯瞰する経験ができたことは、今後の人生で間違いなく活きると思います。

今後プログラムへの参加を希望する学生へのアドバイス

事前に最低限の英語を復習しておくことが望ましいです。初日のオリエンテーション後に実力テストがあり、その結果をもとに General English のクラスが振り分けられます。General English は 6 段階のレベル別に分かれており、レベルが低いクラスだと日本人が多く、折角留学に来ているのに日本人で固まってしまうことになってしまいます。また、Business English や Academic English の受講には、General English のレベル 5 か 6 に在籍していることが必須なので、そういったチャンスを増やす為にも初日のテストで上のクラスに行くことをお勧めします。また、ありきたりなことかもしれませんが、ただ留学に来るだけでは何も英語は上達しないです。自分が何のために留学に来たのかを思い返し、積極的に行動を起こし続けることが必要です。日本人だけではなく、多くの学生が同じ国籍の人達で固まっていますが、その状況に流されてしまっただけでは何も有意義な体験ができません。まず自分がその居心地の良さから抜け出して、かつ他の国籍の友人を抜け出させることが肝です。

留学中の様子がわかる写真を数枚貼付してください。(任意)



クイーンズランド大学メインの建物



仲の良かったクラスメイトと



授業中の様子



アクティビティ(クッキング)の様子



Focus で仲の良かったメンバーと



モートン島

以上